



## ホームページをつくる楽しみ

—近畿病院図書室協議会のホームページ (<http://www.hosplib.info/>) を担当して—

佐藤 道子

### I. はじめに

近畿病院図書室協議会（以下、当協議会）のホームページの歴史は1996年10月31日から始まりました。開設から10年以上、長く形態を変えずに一貫したスタイルを保持してきた当協議会ホームページの運営方針は、①レイアウトはシンプルに中身のある情報を提供する、②必要最小限で最新の情報を提供する、という2点に集約されています。長くウェブマスターとして活躍されていた前任者の退職に伴い、2年前から当協議会のホームページ活動への参加を始めましたが、ホームページを管理・運営するための情報収集や、更新という当り前のことの困難さをひたすら実感する毎日です。ホームページ作成に関する知識は大学の講義で学んだ程度しか持ち合わせていないという頼りない状態から、現在に至るまでの活動を記し、これからどのように当協議会のホームページを発展させていくべきかについてみなさまからご意見をいただき、今後の運営に役立てていきたいと思いません。

### II. 担当者としての第一歩

ホームページ管理のためにまず教えていただいたこと、それが「FTPソフトを入手せよ」でした。ホームページ公開のためには、契約しているプロバイダに作成したファイルを送信する必要があります。FTPソフトを使って送信することによって、作成したファイルをホームペー

ジとして公開することができます。ホームページ作成ソフトを使用する場合は、わざわざFTPソフトを入手しなくてもよいこともあります。当初当協議会のホームページはホームページ作成ソフトを一切使用せず、タグを用いてHTML文書を作成するという方法をとっていたため、まずHTML文書をサーバーに転送するためのFTPソフトを入手するという作業が必要でした。現在は、Microsoft Office Publisher 2003を利用して簡単にホームページを作成できるようになりましたが、この時に教えていただいたFTPソフト（フリーソフトffftp）は今も変わらず活躍しています。（オンラインソフト紹介サイト「窓の杜」から入手できます。

<http://www.forest.impress.co.jp/lib/inet/servernt/ftp/ffftp.html>

### III. 第二の指令

FTPソフトを入手し設定の準備が整ったところで、第二の指令が「ホームページを作成せよ」でした。新しく入った情報を既存のHTML文書に追加・更新するという簡単な作業でしたが、はじめはタグが羅列したHTML文書を見てどこから手をつけていいのかわからず途方に暮れました。この時に「TAG Index」というサイト (<http://www.tagindex.com/>) を知り、タグの使い方の基本を確認することができました。タグを使ってHTML文書を作成する楽しさを発見することができるようになってからは、次はこうしたらどうだろうかというアイデアが次々と思い浮かび、途方に暮れていたことが嘘のように思いがけず楽しい作業となりました。

#### Ⅳ. はじめてのアップロード

作成したHTML文書をサーバーに転送し、いよいよホームページの更新です。事前に用意したFTPソフトを使用してHTML文書を転送します。あっけないほど簡単にホームページが公開され、ここでようやく「簡単な作業」という認識が生まれました。それまでは訳がわからず「簡単だから誰にでもできる」と言われてもにわかには信じがたく、疑いの思いを拭いきれませんでした。実際に試してみようやくその言葉を実感することができました。

#### Ⅴ. レンタルサーバー会社の移行

当協議会のホームページは、サーバーの運用・管理を業者に委託してドメイン（インターネット上の住所）を取得しています。担当者交代に伴い、ホームページの運用管理を見直す必要が生じました。ホームページを作れるようになったとはいえ、まだまだ知らないことが多く、前途多難な状態は変わりませんでした。前任者に代わってこれから1人でホームページを運営していかなければならないという局面を前にし、今後はさらに技術的なサポートや相談できる窓口が必要になると考えました。レンタルサーバー会社との連絡を密に行うためには、まず委託業者から見直す必要があると判断し、どの会社と契約するかという見積作業から新しいホームページ作りがスタートしました。会社を選ぶ際には①ディスク容量②メールアカウントとCGIの利用③料金④サポート体制の4点がどのように利用できるかということ判断の基準に置いて比較検討しました。料金は月額300円から10,000円以上のもので幅広くありましたが、当協議会にふさわしいものとして考えた結果、あまり安すぎず妥当な料金設定だと納得のできるものという視点で選びました。最終的には十分なサービスを受けることができるサポート体制が決め手となり、2007年11月から地元企業のレンタルサーバー会社に運用を依頼する運びとなりました。

#### Ⅵ. ドメインの変更

新しいサーバーへの移行に伴い、新たにドメインを取得し直す必要が生じたため、ホームページのアドレスが変更になりました。それまでは「.org」（非営利団体）のドメインを使用していましたが、「hosplib」というドメイン名を引き続き使用することを希望していたため、同じ国際ドメインである「.info」（誰でも登録可）を採択し、http://www.hosplib.org/からhttp://www.hosplib.info/へ当協議会のホームページのアドレスを変更しました。ドメインには「.com」（営利団体）や「.net」（ネットワーク事業者）などたくさんの種類がありますが、ドメインの用途に沿ったものの中から、覚えやすさ、読みあげた時の音の響きを重視して選びました。ドメインの選択やドメイン契約時の事務手続き、アドレス移行時のスケジュールなど、一連の作業についてもレンタルサーバ会社に相談することで事務手続きをスムーズに行うことができました。こうして当協議会のホームページは、周囲の方々の協力を得いよいよ2007年の11月から新たな形で稼働を始めました。

#### Ⅶ. ホームページの中身

当協議会のホームページは、大きく8つのページから構成されています。各ページについて特に注目していただきたいところをご紹介します。

##### 1. TOPページ

新着情報を目立たせるために“Information”を中心に配置しています。その下に“What’s New!”があり、どの部分がいつ変更されたのかという更新情報を記録しています。TOPページはホームページの入り口として当協議会の活動状況が一目でわかるように情報を整理しています。

##### 2. 事務局だより

幹事会報告を掲載し幹事会での決定事項や運営方針を公開しています。当協議会の入会申込書・機関情報の変更届出書がこのページから入

手できます。

### 3. 当協議会の紹介

組織の紹介・事業活動の内容・当協議会の会則を公開しています。このページから当協議会のロゴやアイコンが入手できます。

### 4. 出版案内

会誌「病院図書館」のバックナンバーと「What's EBM? 図書館員のためのEBM入門」それぞれの目次をご覧くださいことができます。出版物の購入申込も受け付けています。

### 5. 所蔵目録Web版

Kinki Webcatへのリンク・所蔵雑誌目録Web版のQ&A・医中誌WebOPAC連携設定方法など、目録サポートチームからの情報を掲載しています。

### 6. 教育研修活動

勉強会・研修会・総会などのこれまでの記録とこれからの予定を掲載しています。また、勉強会や研修会に参加できない場合でも情報が入手できるように配布資料のデータ化を進めています。スキルアップのための情報源としてどうぞご利用ください。

### 7. 会員名簿

当協議会会員の会員番号・機関名を公開しています。当協議会の入会申込書・機関情報の変更届出書はこちらからも入手できます。

### 8. 掲示板

さまざまな情報が自由に書き込まれ、情報発信・交流の場となっています。小さな疑問からちょっとした情報の提供など、気負わずにどんどんご利用ください。

## VIII. みる楽しみからつくる楽しみへ

ホームページ担当者になってからは、同業種のホームページや関連するホームページがより興味深く目に映るようになりました。これまであまり気にならなかった更新の頻度をみるようになって、こまめに更新されている様子に担当者の取り組みへの意欲を感じたり、ページのみやすさや工夫されている点などをみて感心す

るとともに、「この辺は参考になりそうだ」などと作り手の立場として考えるようになりました。みる立場から作り手側へと立場が変化することで、何げなくみていたホームページに対する関心が高まり、ようやく当協議会のホームページに対して担当者としての使命感が芽生え始めました。今後は、当協議会のホームページがもっと便利に活用されるよう、リンク集を追加し、新しい情報コーナーを設けるなど、会員同士の輪が広がるようなホームページにすることが目標です。ホームページへのご意見・ご要望、情報提供などありましたら当協議会のホームページの「お問い合わせ先一覧」にある各担当までご連絡ください。ホームページの運営に協力していただける方も募集しています。みなさまと一緒に成長するホームページであるように、今後も気を引き締めて活動を続けます。ご協力よろしくお願いたします。